

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
【発行日】 令和 4 年 10 月 28 日 (2022.10.28)

【公開番号】 特開 2022-949 (P2022-949A)
【公開日】 令和 4 年 1 月 4 日 (2022.1.4)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-001
【出願番号】 特願 2021-131823 (P2021-131823)
【国際特許分類】

H 0 4 N 19/119 (2014.01)

10

H 0 4 N 19/136 (2014.01)

H 0 4 N 19/176 (2014.01)

H 0 4 N 19/46 (2014.01)

H 0 4 N 19/52 (2014.01)

【F I】

H 0 4 N 19/119

H 0 4 N 19/136

H 0 4 N 19/176

H 0 4 N 19/46

H 0 4 N 19/52

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 4 年 10 月 20 日 (2022.10.20)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

30

画像復号装置であって、
矩形分割された対象ブロックに対して、幾何学ブロック分割マージを適用するように構成されているマージ部を備え、
前記マージ部は、

前記幾何学ブロック分割マージの適用有無を特定するように構成されているマージモード特定部と、

幾何学ブロック分割パターンを特定し、特定した前記幾何学ブロック分割パターンを用いて、前記矩形分割された対象ブロックを更に幾何学ブロック分割するように構成されている幾何学ブロック分割部と、

前記幾何学ブロック分割された対象ブロックに対するマージリストを構築して動き情報を復号するように構成されているマージリスト構築部とを具備し、

40

前記マージモード特定部は、通常マージの適用有無を特定する通常マージフラグの復号要否判定条件において、前記幾何学ブロック分割マージの適用可不可を特定する判定条件を追加するように構成されており、
前記幾何学ブロック分割マージの適用可不可を特定する判定条件には、前記対象ブロックの高さ及び幅の上限による判定条件が含まれることを特徴とする画像復号装置。

【請求項 2】

前記マージモード特定部は、通常マージが非適用である場合に、前記対象ブロックのマージモードを前記幾何学ブロック分割マージと特定するように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の画像復号装置。

50

【請求項 3】

前記対象ブロックの高さ及び幅の上限による判定条件は、前記対象ブロックのブロックサイズが128画素以上である場合、前記対象ブロックに対して前記幾何学ブロック分割マージの適用を禁止するという条件を含むことを特徴とする請求項1又は2に記載の画像復号装置。

【請求項 4】

矩形分割された対象ブロックに対して、幾何学ブロック分割マージを適用する工程を有する画像復号方法であって、

前記工程は、

前記幾何学ブロック分割マージの適用有無を特定する工程と、

10

幾何学ブロック分割パターンを特定し、特定した前記幾何学ブロック分割パターンを用いて、前記矩形分割された対象ブロックを更に幾何学ブロック分割する工程と、

前記幾何学ブロック分割された対象ブロックに対するマージリストを構築して動き情報を復号する工程とを有し、

通常マージの適用有無を特定する通常マージフラグの復号要否判定条件において、前記幾何学ブロック分割マージの適用可不可を特定する判定条件が追加され、

前記幾何学ブロック分割マージの適用可不可を特定する判定条件には、前記対象ブロックの高さ及び幅の上限による判定条件が含まれることを特徴とする画像復号方法。

【請求項 5】

コンピュータを、画像復号装置として機能させるプログラムであって、

20

前記画像復号装置は、矩形分割された対象ブロックに対して、幾何学ブロック分割マージを適用するように構成されているマージ部を備え、

前記マージ部は、

前記幾何学ブロック分割マージの適用有無を特定するように構成されているマージモード特定部と、

幾何学ブロック分割パターンを特定し、特定した前記幾何学ブロック分割パターンを用いて、前記矩形分割された対象ブロックを更に幾何学ブロック分割するように構成されている幾何学ブロック分割部と、

前記幾何学ブロック分割された対象ブロックに対するマージリストを構築して動き情報を復号するように構成されているマージリスト構築部とを具備し、

30

前記マージモード特定部は、通常マージの適用有無を特定する通常マージフラグの復号要否判定条件において、前記幾何学ブロック分割マージの適用可不可を特定する判定条件を追加するように構成されており、

前記幾何学ブロック分割マージの適用可不可を特定する判定条件には、前記対象ブロックの高さ及び幅の上限による判定条件が含まれることを特徴とするプログラム。

40

50